

あなたに薦める『この一冊』3月

『13歳からの地政学 カイゾクとの地球儀航海』
田中孝幸[著] 東洋経済新報社

社会教諭 鈴木 慎也
高校 2年4組・5組
副担任



高校生の大樹（兄）と中学生の杏（妹）は、アンティークショップで古い地球儀を見つけ、そこでカイゾクと呼ばれている店員と出会う。カイゾクは2人に対して「7日間この店でワシの話の聞いたらこの地球儀をさしあげよう」と言った。その提案に乗った大樹と杏は、**カイゾクの地政学レッスン**を受けるとなった！

地政学とは中高生で習う「地理」と「公民(政治・経済)」を合体させた学問である。この本は大樹・杏・カイゾクの3人の講義形式で進むため、中高生でも読みやすい地政学入門書となっている。

レッスンの内容を少しだけ。

《 ～アメリカはなぜ世界最強なのか？～ 》

・世界の海を支配する国

世界の貿易の90%は海を通るので、いざ戦争になったら敵国の貿易を止めることができる。

・世界一海底ケーブルを張りめぐらせている国

世界のデータの99%は海底ケーブルを通るので、その気になれば世界中の情報を盗み見ることができる。

・核兵器を最強アイテムにする条件がそろっている国

- ① 原子力潜水艦をもっていること
- ② 海の中から核ミサイルを発射する能力をもっていること
- ③ 潜水艦を隠すための深くて安全な海をもっていること

この条件がそろっているのはアメリカとロシアだけ。

おもしろそうと思った人は、ぜひこの本を手にとって読んでみてほしい！

田中 孝幸 豆知識

大学時代にボスニア内戦を現地で研究。新聞記者として政治部、経済部、国際部、モスクワ特派員など20年以上のキャリアを積み、世界40カ国以上で政治経済から文化に至るまで幅広く取材した。大のネコ好きで、コロナ禍の最中で生まれた長女との公園通いが日課。

出典:田中 孝幸 | 著者ページ | 東洋経済オンライン

(<https://toyokeizai.net/list/author/田中+孝幸>)

知って世界を制するための 図書館所蔵関連図書

・ はじめての地政学 いつかやる社長[著] 飛鳥新社

チャンネル42万人！ 大人気の歴史系 YouTuber いつかやる社長が、「いま世界で起こっていること」・「これからの世界と日本はどうなるか」を90枚のイラストでわかりやすくまとめました。

日本は柴犬、アメリカはライオン、中国はパンダ、ロシアは白クマ！ とってもかわいい動物キャラで、世界のことが超楽しくわかる1冊です。



イヴ・ラコスト[著] 原書房

一目でわかる新たな国際情勢！ 地政学的な観点から書かれた、縮尺の異なる150以上の地図が、ズーム効果によって空間的・歴史的流れを浮き彫りにする！ 世界情勢の現状に即して全面的に見なおした新版。

編集後記：国同士の関係性や各国の戦略を理解することができる「地政学」。戦後、侵略戦争を理論的に下支えた悪しき概念だと捉えられ、取り上げられる機会の減少した学問分野です。動乱の時代に、私たちが知っておくべきことは何なのか……そのヒントがこれらの本の中にあるかもしれません。